

幼稚園だより

12月号

令和3年11月30日

荒川区立花の木幼稚園

園長 岩崎 昇

【私の子ども観】



子どもはダイヤモンド

表現参観に向けて

園長 岩崎 昇

日頃より、本園の活動にご理解とご協力をいただき、感謝申し上げます。

11月は、全園児で遠足に行くことができ、教職員、園児ともに喜んでおります。少しずつ園外の活動を実施することができ、うれしく思います。また、保育参観も実施することができました。日常の園児の様子をご覧いただくことができ、安心されたのではないのでしょうか。もし、お子様のことでお気づきのことやご心配のことがありましたら、遠慮なくご相談下さい。

さて、10月の運動会が終了した後、年長いるか組では、12月8日に行う表現参観の準備を進めています。担任と園児たちが話し合いをしながらお話を作り、様々な役になりながら、本番の役を決めていきます。繰り返し練習をしながら、より良い劇へと演技も向上しているようです。なお、年長の表現参観では、感染状況も落ち着いていることから、合奏ではマスクをはずしています。合唱では、マスクをはずし、友だちとの距離を開けています。劇では、マウスシールドを着けての表現となります。同様に、年中こあら組、年少ひよこ組も3学期に実施しますので、ご期待下さい。

今年もあと一ヶ月となりました。新しい一年が良い年になりますように、2学期最後の月を安全第一で取り組んでまいりたいと思います。

今月の保育のねらい

《3歳児：ひよこ組》

- ・友だちと一緒に、同じ遊びをする楽しさを味わう。
- ・冬の行事に興味をもち、喜んで参加する。

《4歳児：こあら組》

- ・簡単なイメージやルールを共有しながら、友だちと一緒に遊ぶ楽しさを味わう。
- ・冬ならではの行事や季節感を、友だちと一緒に楽しむ。

《5歳児：いるか組》

- ・友だちと共通の目的に向かって意欲的に取り組み、充実感や達成した満足感を味わう。
- ・冬の自然や年末の行事に関心をもち、遊びに取り入れて楽しむ。

